



2026年5月8日

各位

会社名 株式会社 中広
代表者名 代表取締役社長 大島 齊
(コード番号 2139: 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役管理本部長 倉橋誠一郎
(TEL 058-247-2511)
(URL <https://www.chuco.co.jp/>)

通期個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年5月9日に公表した2026年3月期通期(2025年4月1日~2026年3月31日)の個別業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

個別業績予想と実績との差異

2026年3月期通期(累計)個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,300	310	200	29.41
実績値 (B)	7,324	341	172	25.44
増減額 (B-A)	△975	+31	△27	
増減率 (%)	△11.8	+10.2	△13.5	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	7,589	241	68	10.03

差異の理由

2026年3月期通期は、当社グループ全社で「Data Driven Innovation」をスローガンとして掲げ、DX及びAIの活用による生産性と業務効率の向上に取り組みました。中広単体においては、主力商品である『地域みっちゃく生活情報誌®』についても生産性向上の観点からエリア戦略を見直し、一部休刊やグループ他社への移管などを行いました。また、自社メディア以外のセールスプロモーション事業等においても、生産性向上を企図したプロダクトミックスや人的リソースのシフトを行った結果、中広単体の経常利益は当初予想を約10%上回った一方、売上高は前期実績を下回る結果となり、売上高について通期業績予想との差異が生じました。

以上